

神奈川県派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	英語英文学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	カリフォルニア大学アーバイン校 (アメリカ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	10-week Intensive ESL		
報告書提出日	2019年10月20日		
留学予定期間	2019年10月～2020年3月		

## 1. 渡航について

### 1.1. 出発前の準備

出願料・宿舍デポジット： 800 (ドル) /合計

航空券代： 164,410 (円) /合計

ビザ申請関連費： 18,400 (円) /合計

その他 ( ): ( ) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

「はい」の場合、いくらの残高証明書を作成しましたか？ 1,000,000 (円) /合計

3月頃に入学許可証を取得

5月頃に visa を申請

6月頃に visa の申請が通りその後、僚の申し込みをしました。

8月頃に航空券を神大の生協で予約

九月、出国二週間前に歯のメンテナンスを行い出国

\*気をつけるべきこと

クレジットカードが使えなくて困ったことがあったのでそのときはすぐに会社に連絡する。

### 1.2. 渡航について

羽田空港からロサンゼルス空港まで直通の便に乗りました。しかし、エンジントラブルの影響により欠便になり次の日の代替の便に乗ることになったため当初、予約した大学の送迎バスをキャンセルした。代替の便に乗ったためプログラムの当日の朝に到着したためウーバーを使って直接大学に向かった。大学まで1時間半くらいで60ドルくらいでした。オリエンテーション開始の時間には少し遅れて着きましたが開始時間が遅かったためなんとか間に合うことができました。

## 2. 到着後の手続きについて

### 2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

#### ・手続き方法

欠便の影響でチェックインの手続きを営業時間内にすることができなかつたため宿舎のスタッフからメールで送られたセルフチェックインの方法に従い入居しました。

ルームメイトが1年と半年ほど滞在しているためどれが共用のものかわからないほどものがあるためどれがルームメイトのものか聞くようにしている。

### 2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

特にしていない。

### 2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

#### 10/2 オリエンテーション兼プレイスメントテスト等

学生証もこのときに渡されるが写真付きのIDにするには10ドルかかる。

10/3 welcome resource fair ここでは学校生活で必要となる交通手段、宿舎、アクティビティ、カフェテリアなどのそれぞれの活動をブースを構えて説明してくれる。加えてこの日にプレイスメントテストの結果、どのクラスになるかがわかる。

## 3. 目標について

### 3.1. 留学の目的、達成目標

英語力についてはとくにリスニング、スピーキングにおいて大きく向上したいと思ってる。目標としては帰国後に英検1級をとることである。そのほかにも現地ならではのアクティビティになるべくたくさん参加して、アメリカ文化について身をもって勉強していきたい。

### 3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

留学が決まってから学内でできる english lounge, english express を利用して英語を話すことに抵抗を感じなくなるようにするだけでなく、都内で開催されている国際交流パーティーに参加して外国人と話す度胸をつけた。現地について授業を受けて感じたことはまず授業を受けている学生は基本的に留学生なのでその国独特のなまりがあって聞き取りにかなり手こずっている。特に中国人のなまりはかなり強烈である。国籍別の生徒の割合は大体でいうと中国人3割、日本人2割、クエート人2割、サウジアラビア人1割、韓国人1割、その他1割である。また現地の人の英語を聞く機会があまりないのでスーパーのレジに並んだときなど日常的に英会話をしようと思心かけている。

### 3.3. 今月の学習・研修目標

リーディングの授業で課されている小説がミステリー小説のため理解するまで何回も読み直す必要があり、かなり時間がかかるので時間があるときは常にその小説を読み返すようにしたい。また日本人の生徒が多いこともあり日本人だけかたまることがあるためなるべく日本人といっても英語で話すようにしている。また毎週開催される留学生向けのアクティビティにはなるべく参加して友達を増

やして英語を話す機会を増やしたい。

## 4. 学修について

### 4.1. 授業時間割

現在の学期	秋学期
月	speaking/listening4 (9:00~10:20) , grammar/writing4 (10:30~11:50) , reading/vocabulary4 (12:00~12:50)
火	speaking/listening4, grammar/writing4, reading/vocabulary4
水	speaking/listening4, grammar/writing4, reading/vocabulary4
木	speaking/listening4, grammar/writing4, reading/vocabulary4
金	speaking/listening4, grammar/writing4, reading/vocabulary4
土	speaking/listening4, grammar/writing4, reading/vocabulary4
日	speaking/listening4, grammar/writing4, reading/vocabulary4

### 4.2. 授業について

①speaking/listening4 (80分/1コマ) (5コマ/週)・・・2週間に一回くらいの頻度で3~5分のプレゼンを課せられそれ以外のクラスの内容は contemporary topics 2 という教科書にそって進めていく。教科書の内容は sociology, linguistics, psychology, business...のように分野ごとでユニットが分かれており毎回それに関するリスニングを最初に聞いて問題に答えてクラスメートたちと意見を出し合いながら進めていきます。リスニングの内容の難易度的には toefl ibt より若干簡単ですが情報量の多いリスニングばかりなのでノートテイキングに手こずります。

評価方法—プレゼン 35% スピーキング期末テスト 10% リスニング小テスト 35% リスニング期末テスト 10% 提出物 10%

アドバイス—講義形式のリスニングだけでなく日常会話レベルの早さの会話になれておくとよい。

②grammar/writing4 (80分/1コマ) (5コマ/週)・・・一度の授業で通常、前半はエッセイの書き方を勉強して後半は文法の理解を行っています。どちらとも英文科の授業でやっていた内容に少しプラスアルファをした内容です。

評価方法—文法小テスト 30% エッセイ、ライティング小テスト 40% 文法期末テスト 10% ライティング小テスト 10% 提出物 10%

アドバイス—文法の内容的には高校生の文法レベルであるが英語で学ぶので文法の専門用語知らない理解が遅れるのでその都度調べるとよい。ライティングに関してはなるべく早く内容をまとめられるようになるのと宿題が減ると最終的には短い時間でエッセイを書かなくてはならないので有利になると思う。

③reading/vocaburary (50分/1コマ) (5コマ/週)・・・この講義では一週間のうちの3コマが reading explore という教科書に沿ってすすめられ内容はユニットごとでたくさんの種類のテーマがとりあげられそれについての設問をクラスメートと話し合いながら答えていく。そのほかのコマについては Westing Game という児童小説を読んできた上で授業を進める。児童小説とはいえどミステリー小説のため登場人物が多いのと一度も聞いたことのない単語が出てきて難しい。あらかじめ小説の設問を解いてきてクラスメートと答え合わせをしながら話し合う。

評価方法—ミニテスト 65% 提出物 15% リーディング期末テスト 10% ボキャブラリー期末テスト

10%

アドバイスー英語の小説が読み慣れていない人だとかなりきついと思うので日頃から英語の小説を読むとよい。また語彙力をつけるためにわからない単語を日頃ノートにストックしておくるとよい。

#### 4.3. 予習・復習・自習について

①の授業は特に予習の必要がないがプレゼンの前だけ準備をするくらいである。復習に関しては dotcampus のようなシステムのところにその日にやったリスニングの音源があるのでわからなかった問題についてはそこで聞き直している。

②の授業についても予習は必要ないが復習はテストがあるのでそのためにする感じである。

③の授業ではあらかじめ小説を読んできて設問に答えてくる予習が必要である。一度読んだだけだと内容の3割ぐらいしか理解できないので最低でも3回は予習の時点で読み直している。復習でもテストのために3回読み直している。不明な点などはクラスメートに聞いている。

自習のようなものはまだしてはいないが中国人の友達が多くできて中国語に興味を持つようになったのでこれから中国語を教えてもらう予定である。

## 5. 生活について

### 5.1. 衣食住について

住居	学外寮（その他： ）
<ul style="list-style-type: none"><li>・出国当初から風邪を引いていてそれが少し悪化して到着したのでかなりコンディションが悪い中オリエンテーションに参加しなくてはならずかなり苦痛であった。また欠便の影響によりオリエンテーション当日について宿舎による時間もなく学校に向かったのでキャリーケースを持ちながら学校案内を受けたのでかなり大変な日であった。欠便になることも考えてオリエンテーションの2日前には到着しておけるようにしておけばよかった。</li><li>・ルームメイトがアメリカ人だったのでネイティブの英語が聞けるのでよかった。</li></ul>	

### 5.2. 課外活動について

<ul style="list-style-type: none"><li>・学校が用意してくれるアクティビティには毎回参加するようにして、なるべくたくさんの人に会うようにしている。例えば、サンタモニカ、ラグーナビーチ、ハンティントンビーチ、ニューポートビーチに行った。</li><li>・現地のキリスト教の人たちにお呼ばれしてディナーに参加したりして現地の人とも交流をするようにしている。</li><li>・休日は今のところ毎日外出しているのでかなりお金がかかっているのもう少し外出を減らした方がいいのか検討中。</li></ul>
---

### 5.3. 現在までの感想

<ul style="list-style-type: none"><li>・来て一番びっくりしたことが日本人生徒の多さです。それはそれで慣れない土地で同じ国の人といると安心しますが、それでは留学している意味が全くないのでなるべく日本人学生とはつるまないようにしています。日本人と話すときもなるべく英語で話すようにしています。</li><li>・まだルームメイトと距離があるので自分から話しかけに行くようにして距離を縮めたいです。</li></ul>
---

以上

## 神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (12月)

所属	外国語学部	英語英文学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	カリフォルニア大学アーバイン校 (アメリカ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	10-weeks Intensive ESL		
報告書提出日	2019年 12月 10日		

### 1. 目標について

#### 1.1. 留学の目的、達成目標

英語力についてはとくにリスニング、スピーキングにおいて大きく向上したいと思ってる。目標としては帰国後に英検1級をとることである。そのほかにも現地ならではのアクティビティになるべくたくさん参加して、アメリカ文化について身をもって勉強していきたい。

#### 1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

リーディングの授業で課されている小説の理解が以前よりも理解が1.5倍近く早くなったように感じる。また、そのリーディングの授業で毎週うけるテストではコンスタントにより点数がとれるようになった。英語を話す機会を増やすためにクラスから1名選抜されてリーダー研修のようなちょっとしたアクティビティがあるので自分から手を上げて参加することにした。また、ルームメイトとの距離が以前よりも縮まったことにより会話をする回数が格段に増えた。

#### 1.3. 今月の学習・研修目標

今月の授業は2週間分しかなくテストが授業の中で行われるので実質授業は一週間ぐらいしかない。なので一回一回の授業においてたくさん質問、リアクションをとっていきたい。周りの日本人と比べると自分はたくさん先生に対して質問したりするがアラブの生徒には毎回、質問の多さに度肝を抜かれる。彼らのようにもっと自然に質問が浮かんでくるように集中して授業に取り組んで負けないように発言したい。

### 2. 学修について

#### 2.1. 授業について

①speaking/listening4・・・教科書で今学期学ぶセクション(全4セクション)が終わったこともあり最近、リスニングを中心に勉強している。内容としてはアカデミックなものが大半を占めているが感謝祭などの祝日が近づいてくるとそれについての歴史や現在のアメリカにおいてはどのような位置づけにあるのかななどをYoutubeで視聴してそれについて他の生徒と意見交換をします。最近、

pronunciation についても学習することが多くなりました。また、期末テストが近づいていることもあり、それに向けた練習も行っています。期末テストでは、**impromptu speech** ということとそれぞれが与えられたお題に対して 2 分以内にスピーチをするものです。お題は簡単なものだと「好きな季節は?」、難しいお題になるとストーリー性を持った「今までで一番の困難とそれをどのように乗り越えたか?」などです。

②**grammar/writing4**・・・**grammar** の授業としては、助動詞や関係代名詞などの基本的な内容を勉強しています。また、**writing** では **cause&effect** や **solution** などの形式型に合わせたエッセイを先生と一緒に学びながら書いて自分でひとつその形式で書いたあとテストとしてまた新しい内容でそれぞれの形式でエッセイを書きます。

③**reading/vocabulary**・・・小説についてはすべて読み終わりましたがいまいち楽しめてない。しかし、他の生徒の何人かは楽しんで読んでいるのでこれが自分の英語の理解力に問題があるのかそれとも話自体がじぶんにとってあまり面白くない内容なのかどっちなのかわからない。先生の多くは、面白い内容だと言っているのもまだ英語力が単純に足りないだけだと思うのもう一度読んでみようと思う。

## 2.2. 予習・復習・自習について

①の授業は特に予習の必要がないがプレゼンの前だけ準備をするくらいである。復習に関しては **dotcampus** のようなシステムのところにその日にやったリスニングの音源があるのでわからなかった問題についてはそこで聞き直している。

②の授業についても予習は必要ないが復習はテストがあるのでそのためにする感じである。

③の授業ではあらかじめ小説を読んできて設問に答えてくる予習が必要である。一度読んだだけで内容の 7 割ぐらいしか理解できないので最低でも 2 回は予習の時点で読み直している。復習でもテストのためにもう一度読み直している。不明な点などはクラスメートに聞いている。

自習の一つとして中国語を本格的に英語で書かれた教材を買って勉強し始めた。一日一時間だけと決めて気長に勉強している。中国語を勉強しているおかげで初対面の中国人に中国語で自己紹介をすると喜ばれるのでうれしい。また、たくさんの中国人のクラスメートがいるので発音を聞いてもらって正しいのか確認してもらっている。発音が特に難しい言語であるため中国語を学ぶにはうってつけの環境である。

## 2.3. 語学力について

留学前から大きく改善された点としては、即座に聞かれた質問などにすぐに返答することができるようになったことである。また最近では、英語でどう答えるか考えるのに話す時間がかかるよりもどんな内容を話せばいいのかで時間がかかっているのも英語の問題ではないなと思った。なのであまり深く質問を考えないでなるべく早くレスポンスを早めることに力をいれていきたい。

## 3. 生活について

### 3.1. 衣食住について

住居	学外寮 (その他: )
----	-------------

ルームメイトとの距離は以前よりも格段と狭まり、一緒に外に出かけるようにもなった。しかし、あまり外に出て遊ぶタイプの人ではないので休日は学校の友達と遊ぶことが多い。渡米してすぐの間は学校

内のファストフードなどを利用して昼食をとっていたが費用面、そして健康面から考えて自分で作ったサンドイッチや昨晚の残り物を持参している。

### 3.2. 課外活動について

感謝祭で4日間休みがあったときは学校のアクティビティを利用してラスベガスに行った。ギャンブルはあまりしていないが買い物をしたのでかなりお金を消費した。普通の週末は近場のビーチへ自転車で1時間半くらいかけて行ったりもしたが水が冷たくてあまり泳げなかった。

### 3.3. 現在までの感想

アメリカに来てから自分の将来について日本にいたときよりも頻繁に考えるようになった。なぜなら、プログラムを受けている学生の中には有名商社を辞めてまでアメリカに留学に来た日本人や定年を迎えてから英語を学び始めた中国人の方などいろいろなバックグラウンドを持っている人がいてその人たちから英語だけではない学び、そして刺激を得ているからである。語学だけが留学の目的ではないということはこういうことなのだと思う。

以上



## 神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学 科	英語英文学科	2 年次
派遣先大学 (国)	カリフォルニア大学アーバイン校 (アメリカ)			
所属プログラム・ 学部・研究科	10week intensive ESL	履修言語	英語	
留学期間	2019年10月～2020年3月			
報告書提出日	2020年4月1日			

### 1. 学修について

#### 1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Fall semester	10月2日 ～12月12日 (10週)	12月9日 ～12月12日	オリエンテーション当日に受験するプレイスメントテストの結果によって振り分けられる。
Winter semester	1月6日 ～3月19日 (10週)	3月16日 ～3月19日	直近の学期の授業において評定70点以上（-C以上）の成績を修めれば自動的に1ランク上のクラスに自動的に昇級できる。

#### 1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
Fall Semester	Speaking/Listening4	66.66..時間	授業は主に教科書に沿ってすすめられました。授業の初めに教科書のリスニングを聞いてその内容についてクラスメイトとペアになり内容の確認をします。その後、クラス全体で毎回の教科書のテーマに沿って軽く意見交換をしたりします。また、教科書のユニットごとにリスニングのミニテストがある。授業後半は主に発音について勉強します。また、3週間に一度くらいの頻度で3分間くらいの簡単なプレゼンテーションも行われます。内容はカルチャーショック、母国紹介などがある。中間試験は行わず、期末試験は講義形式の
		1.33.. (時間/ 回) ×5 (回/週) ×10 (週)	

			リスニング問題と <b>impromptu speech</b> (準備なしにお題を与えられて即興で話すスピーキング) です。
Fall Semester	Writing/Grammar4	66.66..時間	授業前半は文法を主に勉強します。内容は、主に関係代名詞、助動詞など基本的な文法事項でした。ユニットごとに先生のお手製のアクティビティを交えてクラスメイトと一緒に理解を深めていきました。後半は、アカデミックライティングを書けるようになるためのライティングを勉強しました。内容は、 <b>essay</b> の基本的な書き方、 <b>cause-effect, comparison essay</b> の書き方を勉強しました。中間試験、期末試験はともに文法事項の確認テストとエッセイをテスト時間以内に書き上げる試験である。
		1.33.. (時間/回) ×5 (回/週) ×10 (週)	
Fall Semester	Reading/Vocaburary4	41.655..時間	授業は主にアカデミックな内容の教科書を進めてく上で遭遇する難しい単語一つ一つ丁寧に対義語や類義語も含めて確認したり教科書の内容について意見を交換し合ったりします。また、週末には小説を約2章ほど宿題で読みその確認テストを毎週月曜日に行います。中間試験と期末試験は <b>Reading</b> と <b>Vocaburary</b> のそれぞれを別個に行う。
		0.833..(時間/回) ×5 (回/週) ×10 (週)	
Winter Semester	Speaking/Listening5	66.66 時間	この授業では前学期のレベル4のクラスの内容に比べて大差はありませんが、スピーキングの細かい点についての指導が格段に多く見受けられました。例えば、話す際の文の切れ目 ( <b>thought group</b> ) を意識して話したり抑揚をつけたり、ワードチョイスにおいては “ <b>not sufficient</b> ” ではなく “ <b>insufficient</b> ” を使うようにしたり、英語を話せるのは当たり前でその1ランク上のスピーキング力が求められます。試験内容も前学期の大きな違いはない。
		1.33.. (時間/回) ×5 (回/週) ×10 (週)	
Winter Semester	Reading/Vovaburary5	41.655..時間	レベル5の授業では前学期のレベルと比べて教材のレベルが少し上がったのと単語についてのより深い理解が求められるようになりました。例えば <b>root word</b> (語幹) を学習したり類義語の違いに着目したり ( <b>accurate</b> と <b>exact</b> の違いなど)、リーディングメモリー (一読しただけでどれくらいの内容が覚えられるか) を鍛えたりしました。中間、期末試験は前学期と同様の形式でした。
		0.833..(時間/回) ×5 (回/週) ×10 (週)	
Winter Semester	Writing/Grammar5	66.66..時間	レベル4に比べて文法はより深いところまで勉強しました。特に仮定法の授業では日本で学んだ基本文法事項が通用しない場合があり改めて文法の奥深
		1.33..(時間/回)	

		回) ×5 (回/週) ×10 (週)	さを学びました。ライティングでは argument, problem-solution, reaction essay について主に学習しました。中間、期末ともに前学期と同様である。
--	--	---------------------------	---

### 1.3 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

予習について：主に授業内で一緒にやる内容を理解してそれを実際に使って練習してみるというのが基本のスタイルだったので特にこれといって予習は必要とされませんでした。しかしそれでは不十分だと思い、私は自主的に授業では扱わないユニットを読んで常に英文に触れるようにこころがけました。

復習について：ライティングの復習では特に授業内やテストで書いたエッセイをリライトすることが多かったです。自分が今まで普通に使用していた言い回しが直されたりしたときは先生にしつこく質問して納得がいくまで修正しました。リーディングで課された小説の内容が複雑なこともあり、復習で複数回にわたって読み直して理解を深めました。スピーキングの授業に関して復習は必要ありませんでしたがその日に勉強したイディオムや単語、発音の仕方を家に帰ってルームメイト相手に試しに使ってみたりしてアウトプットに心懸けました。

### 1.4.語学力について

留学の経験とおして大きく語学力において向上した点は、瞬間的に英語がしゃべれるようになったことです。留学前は、英語をしゃべれないわけではありましたがはなし始める前に毎回、一呼吸置いて話す内容を決めて話していました。留学後は瞬時に英語で反応して話すうちに話す内容を整理して話すことが可能になりよりスピーキングの能力が向上しました。そのためになるべく現地のアメリカ人と交流するためにパーティーや交流会に参加するよう心懸けました。その他に言語学習アプリを介して知り合った大学の生徒やその周辺に住む方々と交流をはかり英語の理解を深めるとともに日本語についても教えてあげることによって相互の文化交流をすることができました。どうしても語学のクラスだけを受けるだけですと現地の人と関わる機会が少ないので自分から積極的に行動して英語に触れる環境を増やすことに尽力しました。

## 2. 留学の成果を振り返って

### 2.1. 学修の成果

留学における学修で得た成果は大きく分けて三つです。一つ目は、アカデミックな内容のエッセイを書けるようになったことです。今までは行き当たりばったりでエッセイを書くことが多かったのですが授業を通してエッセイのテンプレのような書き方を練習、テストすることによって向上することができました。二つ目はリーディングです。留学前は、英語の小説を読んだとしてもただ単語が目を追いかけるだけで内容が入ってこないことが多々ありました。しかし、留学を通して英語を長時間読んでも集中して内容を理解することができるようになりました。三つ目はスピーキングです。自分の中で飛躍的に向上した点としては即興で英語を話せるようになったことです。留学前は準備した上で英語のスピーチをしたりすることがほとんどでした。しかし、現在では3分くらいの軽いスピーチならすらすらと話せるようになったと思います。

## 2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

良くも悪くも留学でどれくらい学ぶかは「自由」です。最低限のクラスに行ってテストを受ければパスできるのがほとんどの語学留学だと思います。しかし、最低限ではなく最大限にその機会を利用してスキルアップにつなげていくことが重要だと思います。そこでもし留学に行くもしくは、留学に行きたいという人はとにかく今のうちから神大のネイティブの先生だけではなくそれ以外の英語話者との会話をするをおすすめします。なぜかというとな英語話者と言えども先生は日本人の英語には慣れているためそれにあわせて会話をしてくれます。そうでない一般の英語話者の英語は我々の理解度と関係なく英語を浴びせてきます。通常こうなった場合、今まである程度英語を話してきた人でも何を言っているのかわからない状態に陥ります。こうならないためにも日常的に先生ではないネイティブの方と話すことをおすすめします。現在たくさんの言語交換アプリが携帯で無料で利用できるのもそういったものを利用して訓練を積むとよいです。

## 2.3. 留学生活で得られたもの

留学をした人のほぼ全員が口をそろえて「行動力」が身についたという定石はかなりの的を射ていると思います。前提として多くの学生は海外で生活をしたことはありませんので、ひとたび海外に一步踏み出すだけで今まで何の苦もなくしていたことが「挑戦」になってしまうほど劇的に生活の難易度がアップします。例えば、ちょっと気軽に立ち寄ったファストフード店でオーダーをとってもらっただけでも言語が違うぶん、自分にとってはちょっとしたチャレンジでもありました。このように何をするにもチャレンジであったことは帰国してから日本の中でたくさんの困難や厳しい状況に直面することになった時に「行動力」として体現されます。また、行動＝アクション を起こす際には当然ながら「責任」も伴います。そのため「行動力」だけでなく「責任感」も身につけることができました。これからいよいよ大学を卒業して、本当の意味での社会参加を始めた際に問われるこのふたつの生きるすべを留学を通して学べたことはこれからの財産になることは間違いありません。

#### 2.4. 留學生活での反省点ならびに留學志望者へ生活面のアドバイス

生活面での大きな反省点は、ルームメイトたちとの交流です。今まで、見ず知らずの人と同じ屋根の下で衣食住をともにしてきたことがなかったのでどれくらいまで距離を詰めたらいいいのかわからず最初の1, 2週間はぎこちない感じで一緒に過ごしていました。しかし、時がつれるに従ってだんだんと距離を近づけることができました。なので、最初から自分から積極的に話しかけていればもっと近い関係になることができたのではないかと後悔しています。

ベッドルームを共有していたルームメイトと少しもめたことがありました。留學生活も残りあと一週間あたりになったときのことです。コロナウイルスの影響によりたくさんのお店や施設がロックダウンにより閉店や開店時間を短縮するなどの処置をとった際にそのルームメイトのバイト先が彼を一時解雇したことによってルームメイトが一日中家にいることが多くなりました。それによって彼は日夜を問わずボイスチャットをしながらゲームをしていました。わたしが寝る時間になっても大声をだしてプレイに奮闘していました。それに私はしびれを切らし、寝室ではなくリビングルームでプレイしてくれと頼んだところ静かにするからこのままやらせてくれと言われました。私は、渋々そのままプレイさせることにしましたがうるさくて眠れないので自分がリビングルームに移って寝ることにしました。

次の日、さすがにこの状態が長くは続かないとはいえども注意しなくてはと思い、話し合うことにしました。彼自身、夜中に他のルームメイトが寝ているところで大声でゲームをすることをどう思うかと率直に問いかけました。彼は自分の行為が私の迷惑になっていることは十分理解していました。しかし彼は自分の非を認めることは一切ありませんでした。彼がそのときに放った言葉が今でも忘れられません。それは、「他の人の迷惑になることは自分には関係ない。」というのです。ここでアメリカに来て一番のカルチャーショックを受けました。彼の話を知ると彼の性格の問題ではなくアメリカは個人社会なのだからこれはしょうがないことなのだといいました。そこでこれでは埒が明かないと思いはかのルームメイトに相談してやっと、リビングルームでゲームをしてくれることになりました。このように今まで自分が関係をもったひとと考え方が根本から違うひとと接することができたことは自分の中ではすごい大きな変化だったと思います。何か小さなことでも不満があったりしたらすぐに相談し合うことが大切だと思います。私が、もしこの問題に直面したとき相談せずにただの常識がない人なのだと自己完結してしまえばそれで問題は一時的に解決しましたがそのわだかまりが溶けることはなかったでしょう。

今まで、当たり前（スタンダード）だと思っていたことを疑って自分の意識をブレイクスルーすることでよりよい留學生活を送られることができるよう心から願っています。

## 派遣交換留学中の生活等に関する調査

記入日	2020年4月13日	
派遣先国	アメリカ	
派遣先大学	カリフォルニア大学アーバイン校	
留学先での所属学部	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等 学部名：( ) <input checked="" type="checkbox"/> 語学研修 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
本学での所属	外国語学部	英語英文学科・専攻
学年	2年次 (留学開始時の学年)	
	2年次 (留学終了時の学年)	
留学期間	留学開始年月 2019年10月 ~ 留学終了年月 2020年3月	
	留学期間 6ヶ月間	

### I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input checked="" type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ( )
2	部屋の形態	<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋 (同居人数4人)
3	住居形態の詳細を教えてください。	(二人アメリカ人、一人イギリス人、一人韓国人でリビング以外の部屋は3部屋ありました。)
4	入居時手続き	(三ヶ月分の家賃やデポジットは前もって払っていたので自分一人でセルフチェックインをしました。)
5	費用 (月額)	( 約10万 )円
6	食費 (月額)	<input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 円
7	支払方法	( タームごとにクレカで支払いました。 )
8	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( プール、バスケットコート、テニスコートなど )
9	住居選択方法	<input type="checkbox"/> 大学に申込 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ( )
10	周囲環境	( 交差点を挟んだところに中東系スーパーがありそこで主に食品を調達。同じブロックにスタバ、薬局、ホームセンターなどあるので特に生活する上で、不便ではありませんでした。 )
11	アクセス	( 歩いて45分、自転車で20分くらいです。大学で開催されていた、自転車の中古セールで25ドルで買った自転車を使用。 )
12	留学中の住居に関してアドバイス	( 不満点や迷惑なルームメイトがいたら無理をせずに注意をする。 )
13	引越された方は引越し先の住居形態を記入ください。	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ( )
14	詳細を教えてください	( 特に掃除当番を決めて掃除をすることはありませんでしたが気づいた人がやる感じでした。また、一ヶ月に一回くらいの頻度でアパートの管理の方が掃除をしてくれます。 )

## II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参しなかった
2	現地キャリアの携帯電話	加入式（月額支払）
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	（日本の仲介会社（アメスマ）を利用してT-MobileのSIMカードを渡米前に入手）
4	自宅のインターネット接続環境	無線（大学または寮へのLAN接続）
5	大学内インターネット接続環境	無線（大学または寮へのLAN接続）

## III. 留学費用について

諸経費（1ヶ月の平均）			
1	1	10万	円/月 備考（\$970）
2	2	3万5千	円/月 備考（\$400）
3	3	0	円/月 備考（\$0）
4	4	4,500	円/月 備考（\$40）
5	5	1万	円/月 備考（\$80）
6	6	0	円/月 備考（\$0）
7	7	2万5千	円/月 備考（\$230）
8	8	2千	円/月 備考（\$20）
9	9	0	円/月 備考（\$0）
10	10	2千	円/月 備考（\$20）
上記以外にかかった大きな金額の内訳（留学準備期間含む）			
11	11	2万7千	円/月 備考（\$250）
12	12	4万	円/月 備考（ ）
13	13	16万	円/月 備考（ ）
14	14	20万	円/月 備考（旅費）
15	15	165万	円/合計
お金の持って行き方			
16	16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金（渡航時：5千円） <input type="checkbox"/> 国際キャッシュカード（銀行名： ） <input type="checkbox"/> 海外送金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカードからのキャッシング <input type="checkbox"/> その他（ ）	
17	17	現地で銀行口座開設	してない
18	18	お金に関するアドバイス （今後留学をする学生に対して）	カードは一枚でもいいという人もいるが絶対にクレカとデビットはそれぞれ一枚ずつ持って行くこと、もしくはクレカ二枚とキャッシュカード一枚を持参することをおすすめする。お店によってはセキュリティーの関係である類いのクレカが使えないお店がある

#### IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類	B19 (6か月分で 65,180円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	はい
3	(2で「はい」を選んだ場合のみ記入) 海外旅行（留学）保険の適用を受けましたか？	受けた
4	(3で「受けた」を選んだ場合のみ記入) どのような方法で適用を受けましたか？	立替の上、後日返金
5	日本から持参した方が良かったと思う薬などはありますか？理由は何ですか？	特になし

#### V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの 衣類、味噌汁などの荷物にならない程度の日本食
2	現地で購入したもの 教科書や書籍、食料品
3	(自分は持っていかなかったが)日本から持っていったら便利だと思ったもの 結局、アメリカで買えない日本のものはないので特にはないです。

#### VI. 留学先で困ったこと

帰国する際、荷物が多すぎたのでいらぬ服は極力持ってこないようにする。留学先でも買えるものがほとんどなので心配だからと言ってあまり持ってこない方がよい。

#### VII. その他、後続の学生へのアドバイス

アーバインは、アメリカの中でもトップクラスに治安がよい土地であるため治安が心配という方にはとてもおすすめてできますが、物価が比較的高いため費用が気になる方にはおすすめてできません。しかし、車で一時間ほどで LA に行けたりビーチも近くにあるため週末に何もすることがなくて困ることはありません。大学は、日本人留学生が多いこともあり日本人コミュニティーが形成されやすいため英語のためだけにアーバインに来るのはナンセンスであります。留学の意味を今一度深く考え直して有意義な留学をされることを心から深く願っております。





